

第 20 回教育委員会

令和 3 年 12 月 14 日
午後 3 時 30 分
市会第 4 委員会室

案 件

報告第 23 号

令和 3 年度大阪市スマホサミットについて

令和3年度「大阪市スマホサミット」のまとめ

実施に至るまでの経緯

R2年度

- アンケート結果分析 → 生徒会交流会 ⇒ 「大阪市スマホサミット」 (第1回: 令和3年1月23日)
(課題認識と提言)

「ルールは必要。でも、自分たちの意見も聞いてほしい。」

R3年度

- 児童生徒によるルール策定についての提案 (WG会議)

テーマ 「ネットの依存性をなくすために」・「ネットをかしこく使うために」

【中学校】

- 生徒会交流会 各教育ブロック (8月27日) : 中止
- 中教研 特別活動部の選考で、「大阪市スマホサミット」代表校 8校を決定

連携

【小学校】

- 小教研児童会活動部との連携
- 「大阪市スマホサミット」にて、参加校 3校の取組をビデオで発表

第2回大阪市スマホサミット (令和3年11月20日)

- ・ 各教育ブロック代表 2 中学校(合計: 8校)が参加
 - ・ 大阪市PTA協議会
 - ・ 大阪府警察本部
 - ・ 兵庫県立大学ソーシャルメディア研究会
- ※参加校の取組を踏まえ、議論を深める。
※一人一人の児童生徒が考える機会とする。
※家庭での話し合いも促す取組につなげる。



【児童生徒からの提言】

- ネットの依存性をなくすために
 - ・ 保護者等の協力や、**使用時間** を含めた使い方等に係る **ルールの必要性**
- ネットをかしこくつかうために
 - ・ デメリットや **危険性** について理解を深める必要性
 - ・ SNS等で **人間関係のトラブルを防ぐ** ため、相手の状況を配慮する必要性

➔ 啓発・周知が重要

【大阪市スマホサミット ネットスローガン】

- ① **人間関係** 「言葉のトゲをなくそう ～サボテンからタンポポへ～」
⇒ ネットでのやりとりは表情が見えない分、言葉の使い方に注意が必要
- ② **時間** 「戻せない 後悔のない ひとときを」
⇒ スマホ、ネット使用に費やす時間に対する注意喚起・ネット以外においても後悔のない時間の過ごし方を考えることが大切
- ③ **危険** 「再確認 ～その情報 ほんまにあってる？～」
⇒ 手軽に入手できる情報を簡単に信用せず、事実であるかを確認することで危険を回避

【全市に広めるために】

- ・ ポスター、新聞、冊子の作成（※中教研 特別活動部より 活動報告を全校へ配付予定）
⇒ ポスター、新聞：学校をはじめ、公共施設に掲示 冊子：授業で活用
- ・ 大阪市全校の昼の放送で周知

【1】各小・中学校へスマホサミットの結果を展開

- スマホサミットで決まったスローガンについて周知。 ①人間関係 ②時間 ③危険
- スマホサミットでの議論内容等、児童生徒が考えるための情報を提供。
 - ・ 大阪市スマホサミット活動報告書（中教研特別活動部作成）
 - ・ 当日発表資料 ・ スマホサミット新聞（代表校が作成）
 - ・ アンケート集計結果 ・ チャレンジテスト分析結果等
- P T A協議会から保護者に向けた発信

【2】各小・中学校での取組を展開

- スマホサミットでの議論内容をもとに、各校において児童生徒自身が考える機会をもち、スローガンで取りあげた3観点について、自校の「使用ルール」を策定する。
- そのほか、学校独自のスローガンを作成するなど、学校の実情に応じた取組を進める。

 家庭へも学校の「使用ルール」を周知し、家庭での使用に関する話し合いに繋げる。

児童生徒の意見を踏まえたルール策定と取組の流れ

【令和元年度】

- 総合教育会議（令和2年1月）
市長より、不登校と「スマホの使い方」との関連について言及があった。
教育長より、現状把握の上、改善できる方策を検討する旨を回答。

【令和2年度】

- 中学校特別活動部との連携による取組
アンケート結果分析 → 生徒会交流会・大阪市スマホサミットの実施（課題認識と提言）

【令和3年度】

